

平成 21 年度「授業力向上プロジェクト事業研究学校」

「外国語活動」実践研究

宇都宮市立豊郷南小学校

研究の目的（研究主題）

「生き生きと意欲的に活動する児童の育成」  
 ～楽しくコミュニケーションを図る英語活動を通して～

新学習指導要領による外国語活動の目標は「外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」としている。

つまり、話す・聞く活動を中心とした体験的な活動を通して、人とかかわりあうことの楽しさを味わわせ、互いに理解しあおうとするコミュニケーション能力の育成が求められている。そのために、言葉だけでなく、身体表現を使って表現し伝え合う力を向上することが大切である。

外国語活動の講師について

A L T を宇都宮市から隔週ごとの木曜日と金曜日に割り当てがある。また、地域のボランティアティーチャーにも外国語活動の講師をお願いしている。

研究内容について

外国語活動の研究内容は校内研修を中心に、次の表の通りである。

月 日	研 究 内 容
4月 3日(金) 4月 22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修オリエンテーション(外国語活動)</li> <li>研究主題の決定(外国語活動)</li> <li>研究の内容、研究計画、組織等についての共通理解</li> </ul>
6月 3日(水) 6月 17日(水) 6月 24日(水) 7月 2日(木) 7月 28日(火) 7月 29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動の共通理解とビデオ研修</li> <li>外国語活動の指導案検討</li> <li>外国語活動の指導案検討</li> <li>第1回校内授業研修会(外国語活動、要請訪問)</li> <li>外国語指導助手を迎えての研修</li> <li>クラスルーム・イングリッシュのブラッシュアップ研修</li> <li>「外国語ノート」などにある歌、チャンツゲーム等の講習会</li> </ul>
10月 7日(水) 10月 28日(金) 11月 4日(水) 11月 18日(金) 2月 24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語活動の研修報告</li> <li>外国語活動の指導案検討</li> <li>外国語活動の指導案検討</li> <li>外国語活動の指導案検討</li> <li>第1回校内授業研修会(外国語活動、要請訪問)</li> <li>本年度の校内研修の反省と次年度の方向づけの検討</li> </ul>
通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>A L T による外国語活動の実施</li> <li>給食の時間における A L T との交流活動</li> <li>A L T と児童との休み時間や昼休みの交流活動</li> <li>ボランティアティーチャーによる外国語活動の実施</li> </ul>

## 学習指導案

次の指導案は、第1回の授業研究の実践した指導案である。

# 外国語活動学習指導案

平成21年7月2日(木)第5校時 第5学年3組

指導者 HRT 松本 尚美

ALT Phillip Stephen Malloy

VT 菅沼 綾江

## 1 単元名 数で遊ぼう How many?

## 2 単元の目標

- (1) 世界の数の数え方や遊びに興味を持つ。
- (2) 積極的に数を使ったゲームをしようとする。
- (3) 1～20までの数を使っているいろいろなゲームをする。

## 3 学習指導要領との関連と指導観

小学校外国語活動の目標は次の通りである。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

外国語活動の目標は三つの柱から成り立っている。

- (1) 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- (2) 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- (3) 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

本単元では、これからの学習の中で繰り返し使われる「数」のうち、入門期として1～20までの数を取り上げる。数の取り上げ方としては、歌やゲームを通して、少しずつ使える範囲を広げていく。同じ数を数えるのにも、言葉だけでなく、指を使った数え方や「正」の漢字を使った数の記録の仕方など他国のやり方を体験させ、日本との違いや同じところに気づかせていく。子どもたちの身近な数字を国語科で学んだ題材や算数科の題材で行うことにより、グループの中で活発な会話が展開できると考える。

## 4 児童の実態

今年から外国語活動が週1回計画に基づいて行われている。昨年も外国語の学習を少し行い親んでいるとはいっても、すべて英語で行われるのは初めてである。英語に興味を持って参加する児童もいれば、分からないと初めから苦手意識を持っている児童もいる。子どもたちには、「先生が何を伝えようとしているのか推測しながら聞くことが大切。」「耳を澄ませよく聞き、まねして声に出そう。」と伝えてきた。表情から相手の伝えたいことを理解しようとするのは、積極的にコミュニケーションを図ることに他ならない。相手の伝えたいことが分かったとき、また自分の伝えたいこと

が伝わったときの喜びを体験させることが、今の子どもたちにとって大切であり自信につながっていくと考える。まずは、「I know card」を用意し、子どもたちへの意欲付けを試みた。時々回収し、シールの少ない児童には、支援できるよう心がけていきたい。

### 5 単元の指導計画

単元 (Lesson)	タイトル	指導内容			
		第1時	第2時	第3時(本時)	第4時
3	数で遊ぼう	・世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1～10の数を言う。	・世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1～20の数を言う。	・いくつかたずねたり、1～20の数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友達と行う。
	使用表現等	How many? / Five.			

### 6 研究主題との関連

本校の研究主題は「生き生きと意欲的に活動する児童の育成」～楽しくコミュニケーションを図る英語活動を通して～である。子どもたちは今まで、あいさつと気持ちの表現を学習してきた。それを踏まえ、単元3では毎回あいさつを取り入れALTやVTとコミュニケーションを図れるように指導してきた。本時では、ゲームをたくさん取り入れることにより、ALTだけでなく子どもたち同士での関わりも期待できる。これは、高学年の目指す児童像

目的や意図に応じ自分の考え(伝えたいこと)を相手に表現する子

相手のおよその意図をつかみながら聞き、理解しようとする子

コミュニケーションを通じて、自分や友だちのよさや頑張りに気付き、認め合う子  
につながると考える。

### 7 本時の指導

#### (1) 目標

- ・ 数を尋ねたり、1～20までの数で答えたりする。

#### (2) 展開

児童指導上の留意点 人権教育上の配慮 学校課題との関連

過程分	児童の活動	HRTの活動	ALTの活動 VTの活動	・指導上の留意点	教材
あいさつ 5分	・あいさつをする。 Hello, I'm fine/happy/hungry/sleepy.	・全体にあいさつをする。指導者3人で児童を分担して一人ひとりの児童と挨拶をする。Hello, how are you?		一人ひとりとあいさつをすることにより、指導者と1対1で英語でやり取りをする機会を持たせるようにする。	・I know Card ・シール

復習 5分	【Let's Play】 ・英語のかけ声で、ALT とじゃんけんをする。負けた児童から座っていき、最後まで残った児童が勝ちとなる。	・全員立って、ALT とじゃんけんをするよう指示する。Let's play janken with Mr. Phillip Everyone, stand up. Again. This time with the Ayae teacher	・ALT 対児童でじゃんけんをする。 Rock, scissors, paper. One, two, three. Who won? Who lost? If you lost, sit down. One more time. Are you ready?	・前時に行ったじゃんけんを行い、前時に学習したことを思い出させるようにする。  ・最後まで残った勝利者にシールを貼る。(ALT・VT)	
復習 5分	【Let's Sing】 ・“Ten Step” や “Twenty Step” を様々なやり方で歌う。	・“Ten Step” を歌うことを告げる。“Ten Step” を歌う。(HRT) 数を、11～20 に替えて “Twenty Step” を歌う。(VT) ジェスチャーを付けたり、指示された数字を抜かし、その代わりに手をたたいたりして歌う。(ALT) Let's sing together. “Ten Step” Now lets change the words from “one to ten” to “eleven to twenty.” Let's sing and do the gestures.	・英語ノート p17 のジェスチャーを付けたり、1～10の数のどれかを発音する代わりに手をたたいたり、数を11～20にしたりして、歌い方を工夫し、飽きずに何度も歌えるようにする。	・英語ノート ・CD ・ジェスチャーのポスター	
展開 10分	【Let's Play 1】 ・ゲームのやり方を知る。 ・ペアになり、2人の間に消しゴムを1つ置く。 ・ALT が言う数を繰り返す。ALT がキー・ナンバーを発音したら、繰り返さず、消しゴムを取る。 ・ポイントを発表する。	・キー・ナンバー・ゲームをすることを告げる。(HLT) ペアになり、机をはさんで向き合う。 机の中央に消しゴムを置き、キー・ナンバーを決め、みんなで確認する。 ALT が言う数を繰り返して言う。 ALT がキー・ナンバーにあたる数を言ったら、それを繰り返さず、消しゴムを取る。早く取った方が1ポイントもらえる。 Let's play the Key Number Game. Get into pairs. Put one eraser between you and your partner. I will say a number. Repeat it. But now “five” is the key number. If I say “five,” take the eraser. (消しゴムを取るジェスチャーをする。) Who can take an eraser? That student gets one point. ・数字を発音する。 ・何ポイント取れたかを尋ねる。 How many points do you have? very good. Great!	・この活動を通して、児童に数を何度も聞かせたり、機械的に発音したりする機会を与え、数の言い方に慣れ親しませるようにする。  ・ALT が英語で説明した後、HRT と VT が児童役をし、ゲームのやり方を示す。  ・決まったキー・ナンバーを黒板に書く。(VT)  ・ポイントを日本の数え方でもアメリカの数え方でもよいので記録しておくようにする。(HRT が説明) ・ポイントの記録をしているか確認する。(HRT・VT) ・ポイントの多い児童にシールを貼る。(HLT)	英語ノート p20 ・数字カード  ・ワークシート(HRT)	

展開 5分	<p>【Let's Play】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのやり方を知る。</li> <li>・おはじきを箸でつまんで、その数を数える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ How many marbles? (おはじきつまみ) をすることを告げる。</li> <li>おはじきをはしでつまむ。</li> <li>つまんだおはじきを数えていく。(1分間×2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の発音に慣れたので、児童全員で声に出して数えさせる。</li> <li>・おはじきは30まで用意し、発展的な学習にも対応する。</li> <li>・できたことを認め、たくさんできた児童にシールを貼る。(HLT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱</li> <li>・おはじき</li> <li>・はし</li> <li>・タイマー</li> </ul>	
展開 5分	<p>【Let's Play】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのやり方を知る。</li> <li>・さいころを投げて出た数をたし算する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ How many numbers? をすることを告げる。</li> <li>さいころを3回投げる。</li> <li>出た数をたし算して答える。</li> <li>About dice are thrown out three times.</li> <li>+ + =</li> <li>Does nobody want to do?</li> <li>Ok. Good job.</li> <li>・次々に児童を指名し、ゲームを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数のたし算を英語で行う。</li> <li>・できたことを認め、シールを貼る。(ALT)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・さいころ</li> </ul>	
展開 5分	<p>【Let's Play 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのやり方を思い出す。</li> <li>・じゃんけんに勝ったら好きな数字を言う。</li> <li>・ピラミットの数字についての数を数えて、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字ピラミッド・ゲームをすることを告げる。</li> <li>・ゲーム2を使って、ゲームのやり方を簡単に確認する。</li> <li>Hello.</li> <li>Rock, scissors, paper.</li> <li>One, two, three.</li> <li>Five.</li> <li>Thank you. Good-bye.</li> <li>・児童とともにゲーム2をする。(ALT)</li> <li>・時間を見計らってゲーム終了の合図を送る。</li> <li>・ の数を尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に行っているゲームであるが、再度、そのやり方を提示する。</li> <li>数をを使ったゲームを楽しみながら様々な友だちと仲良く活動できるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="928 1182 1449 1375" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>評価 友だちに積極的に数を尋ねたり、答えたりしている。 &lt;行動観察・英語ノート点検&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ではできない児童には一緒にまわり支援する。できたことを認めシールを貼る。(HRT・VT)</li> <li>・たくさん がついた児童にシールを貼る。(ALT)</li> </ul>	英語ノート p19	
あいさつ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをする。</li> <li>・あいさつをする。</li> <li>Thank you very much</li> <li>Good-bye. See you</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使うという態度面についてよかったところを言う。</li> <li>・挨拶をする。</li> <li>Good-bye.</li> <li>See you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語についてよかったところを言う。(ALT・VT)</li> <li>・挨拶をする。</li> <li>Good-bye.</li> <li>See you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の意欲につながるように、具体的に児童のよかった点を評価する。</li> </ul>	

## 第1回の授業研究の活動の様子



### まとめ

#### 《成果と課題》

#### 1 成果

- ・ ゲームやチャンツ等の活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に親しむ子どもが増えてきた。
- ・ 授業ばかりでなく、給食や昼休みもALTと共に生活することで、文化や習慣の違いを知り、お互いを理解しようとする意欲や態度が育ってきた。

#### 2 課題

- ・ 外国語活動を含む会話科の実施に向けて、本年度に引き続き、指導力向上のための取組を一層充実することが大切である。